

資料編

交通事故被害者に対するアンケート調査票

子弟用

保護者用

交通事故被害者の子弟に対する
アンケート調査票

交通事故被害者の子弟及び、子弟の保護者に対する調査の説明とご協力をお願い

交通事故被害者のご家族及びご遺族の方へ

内閣府では、平成 15 年度から、交通事故被害者支援事業を開始し、この事業を通じて、交通事故に遭われた被害者及び家族又はその遺族の方々の精神的な支援の充実強化を図っております。

今般、本事業を進める中で、有識者を含む検討会において、未成年の交通事故被害者ご家族の方への支援が不十分であることの問題が取り上げられ、この度、被害者のご子弟への支援について、ご子弟及び保護者を対象に調査を行うことといたしました。

この調査の結果については、今後のご子弟への支援を充実させるための検討に活用して参りたいと考えております。

なお、本調査へのご協力については、自由意思に基づくものでございますので、参加されないことで、不利益が生じることは全くございません。また、この調査の郵送回収、アンケートの開封、分析につきましては、日本 PMI コンサルティング(株)が行います。個々のデータはすべて匿名の情報として統計的に扱い、外部に漏れないよう厳重に管理いたします。また、この結果につきましては、個人が特定できないよう、全体として集計・分析したものを事業報告書に掲載すること、又は、今後の内閣府事業等に活用することはございますが、ご了解いただいていない記載を公表することは一切ございません。

以上を踏まえまして、今後のご子弟を取り巻く環境の改善を図るためにも、本調査へのご協力を頂きますよう、お願い申し上げます。

平成 22 年 12 月 1 日

内閣府 政策統括官(共生社会政策担当)付参事官(交通安全対策担当)
安部 雅俊

ご記入頂きました調査票は、同封の返信用封筒にてご返送頂きますようお願い申し上げます。また、この調査へのお問い合わせ等ございましたら、下記にご連絡下さい。

<調査の趣旨について> 内閣府 政策統括官(共生社会政策担当)付
交通安全対策担当：秋山、遠山
TEL: 03-3581-9482(直通)

<調査の内容について> 日本 PMI コンサルティング株式会社
担当：中山、高橋
TEL: 03-3556-6180 FAX: 03-3556-6265
E-mail: c-nakayama@pmic.co.jp

本調査にご協力をいただき、事故を思い出すなどして辛く感じるようなことがございましたら、下記事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。相談員が対応させていただきます。

センター名：
電話番号：
時間：

このアンケートは、「交通事故被害者の子弟」の方にお 願います。

このアンケートの概要について

このアンケートは、図のように、「交通事故被害者の子弟」及び「交通事故被害者の子弟の保護者」を対象としております。なお、交通事故被害者とは、交通事故によりお亡くなりになった方及び後遺障害を負われた方を指します。また、ご家庭によっては、複数の調査票を送付させていただきますので、表紙の対象者をご確認の上、ご回答をお願いいたします。

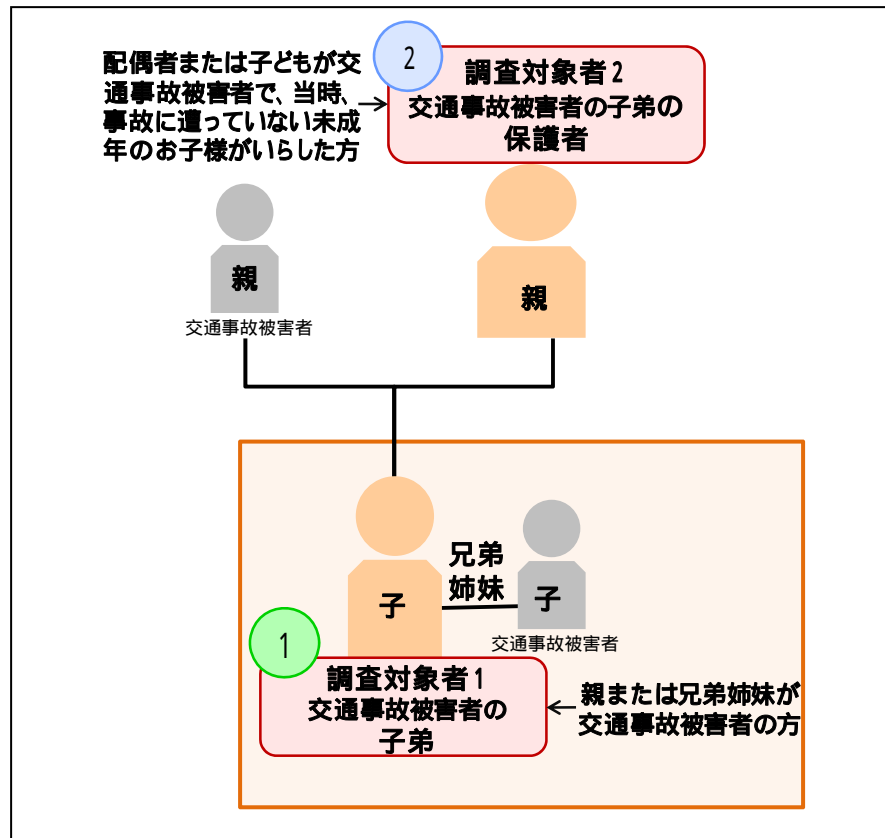
調査対象者1：交通事故被害者の子弟

家族（親や兄弟姉妹等）が交通事故被害者となったときに未成年（18歳未満）であり、
現在は、18歳以上の方

調査対象者2：交通事故被害者の子弟の保護者

家族が交通事故被害者となったときに、事故に遭っていない未成年（18歳未満）のお
子様がいらした方

図 調査対象者



ご提出期限：お手元に届いてから 10 日後を目途にご投函ください。

交通事故被害者の子弟 に対するアンケート

この調査における「交通事故被害者の子弟」とは、子どもの頃に親やきょうだが、交通事故被害に遭われた方を指しています。

．あなたの状況等について伺います。

1. あなたの性別について該当する番号に をつけてください。 1. 男 2. 女

2. 現在の年齢をご記入ください。 現在 () 歳

3. ご家族の方が事故に遭われたときのあなたの年齢及び就学状況について伺います。左側に年齢をご記入いただき、右側の就学状況については、該当する番号に「1つだけ」印をつけてください。

事故当時 () 歳

1. 未就学児（幼稚園・保育園等）
2. 小学校低学年（1～3年生）
3. 小学校高学年（4～6年生）
4. 中学生
5. 高校生
6. その他（ ）

4. あなたからみて、事故に遭われた方はどのような関係ですか。該当する番号「全てに」印をつけてください。

1. 父親
2. 母親
3. 兄
4. 弟
5. 姉
6. 妹
7. その他（具体的に： ）

5. 上記で をつけた方は、亡くなられた方ですか、後遺障害が残った方ですか。該当する番号に「1つだけ」印をつけてください。

1. 亡くなられた方
2. 後遺障害が残った方
3. 亡くなられた方も後遺障害が残った方も両方いる

6. 現在のあなたのご職業をお聞かせください。該当するものに 印をつけてください。

1. 短大、専門学校、大学・大学院生
2. 社会人（学校を卒業している）
民間企業勤務・公務員 自営業・自由業・家族従業・内職 現在は働いていない
その他（ ）
↓
「民間企業勤務・公務員」と回答した方の契約形態をお聞きます。
A. 正規の職員・従業員 B. 契約社員 C. 派遣・嘱託
D. パートタイム・アルバイト・非常勤 E. その他（ ）

7. 最後にご卒業された学校（在学中の方は在学中の学校）について、お聞かせください。該当するものに 印をつけてください。

1. 中学校
2. 高校
3. 専門学校
4. 高専
5. 短大
6. 大学
7. 大学院
8. その他（ ）

・事故から現在までのことを伺います。

1. ご家族の方が事故に遭われたことに対する次のような感情について、事故から現在までの間に、あなたはどの程度お感じになったことがありますか。それぞれ右欄の「とても感じていた」～「感じていなかった」の中から該当する番号に「1つだけ」印をつけてください。

	とても感じていた	やや感じていた	どちらともいえない	あまり感じていなかった	感じていなかった
ア. 自分がかんばらなくてという気持ち	5	4	3	2	1
イ. 事故に遭ったのは自分のせいだと責める気持ち	5	4	3	2	1
ウ. 自分も死ぬのではないかとという気持ち	5	4	3	2	1
エ. 遭された家族も死んでしまうのではないかとという気持ち	5	4	3	2	1
オ. 将来についての漠然とした不安	5	4	3	2	1
カ. そっとしておいてほしいという気持ち	5	4	3	2	1
キ. 遭された家族を責めるような気持ち	5	4	3	2	1
ク. なぜ事故が起こったのかと社会を責める気持ち	5	4	3	2	1
ケ. 他人が信じられないという気持ち	5	4	3	2	1

2. ご家族の方が事故に遭われてから、以下のような変化がこれまでにありましたか。それぞれ右欄の「よくあった」～「全くなかった」の中から該当する番号に「1つだけ」印をつけてください。

	よくあった	たまにあった	どちらともいえない	あまりなかった	全くなかった
ア. 何かをする気力がでなかった	5	4	3	2	1
イ. 体の調子が悪かった	5	4	3	2	1
ウ. 気持ちが落ち込んでしまうことがあった	5	4	3	2	1
エ. 勉強や仕事に集中できなかった	5	4	3	2	1
オ. 学校や職場に行けない時期があった	5	4	3	2	1
カ. 趣味やクラブなど、楽しむ活動が減った	5	4	3	2	1
キ. 勉強やスポーツなどに没頭した	5	4	3	2	1
ク. 友人と遊ぶことが減った	5	4	3	2	1
ケ. 友人と話をしたくなくなった	5	4	3	2	1
コ. 友人との関係が、より親密になった	5	4	3	2	1
サ. 家族の関係が、より密接になった	5	4	3	2	1
シ. 家族と話すことが減った	5	4	3	2	1
ス. 家族に反抗的な態度を取ることがあった	5	4	3	2	1

左の項目のようなことがあった場合

3. 事故から現在までの間における周囲や友人、家族の対応について、不快に感じたことがありますか。それぞれ右欄の「とても不快だった」～「不快ではなかった」の中から該当する番号に「1つだけ」印をつけてください。また、そのようなことがなかった場合は、右側の列の「0」の番号に をつけてください。

		とても不快だった	少し不快だった	どちらともいえない	あまり不快ではなかった	不快ではなかった	そのようなことはなかった
ア.	事故や家族の死について、疑問に思うことに答えてもらえなかった	5	4	3	2	1	0
イ.	家族の重要な決定をする際に、自分の意見を聞いてもらえなかった（例：転居、転校、葬儀・法事などの決定）	5	4	3	2	1	0
ウ.	事故後、親が過剰に自分のことを心配したり、過保護になった（例：親に行動を制限されるなど）	5	4	3	2	1	0
エ.	事故後、親が自分のことを気にかけてくれなくなった	5	4	3	2	1	0
オ.	（亡くなられた場合）葬儀に参列させてもらえなかった	5	4	3	2	1	0
カ.	（亡くなられた場合）亡くなった家族のことを、家族が話したからなくなった	5	4	3	2	1	0
キ.	周囲から年齢以上の役割を求められた（例：「あなたが代わりにしっかりするように」など）	5	4	3	2	1	0
ク.	周囲から慰めるようなことを言われた（例：「あなたの気持ちはよくわかる」など）	5	4	3	2	1	0
ケ.	周囲から、回復に向けたアドバイスを受けた（例：「こうすればいい」など）	5	4	3	2	1	0
コ.	周囲から自分の悲しみや怒りなどの感情を否定された（例：「そんなふうに思っはいけない」など）	5	4	3	2	1	0
サ.	周囲から「頑張れ」と言われた	5	4	3	2	1	0
シ.	友人から同情された	5	4	3	2	1	0
ス.	友人の接し方が変わった（例：急によそよそしくなるなど）	5	4	3	2	1	0
セ.	事故後、笑ったり、遊んだりすると親から嫌な顔をされたり、止められた	5	4	3	2	1	0

4. 上記以外に、事故の出来事や周囲のかかわりで、不快な体験をしたことがありましたら、どのようなことでもご自由にご記載ください。

左の項目のようなことがあった場合

5. 事故から現在までの間における周囲や友人、家族の対応について、助けになったことがありますか。それぞれ右欄の「とても助けになった」～「助けにならなかった」の中から該当する番号に「1つだけ」印をつけてください。また、そのようなことがなかった場合は、右側の列の「0」の番号に をつけてください。

とても助けになった	やや助けになった	どちらともいえない	あまり助けにならなかった	助けにならなかった	そのようなことはなかった
-----------	----------	-----------	--------------	-----------	--------------

ア.	事故の後、家族や親せきなど、誰かが付き添ってくれたこと	5	4	3	2	1	0
イ.	事故や家族の死について、疑問に答えてもらったこと	5	4	3	2	1	0
ウ.	家族で故人の思い出などを話したこと	5	4	3	2	1	0
エ.	自分の悲しみや不安などを家族に相談したこと	5	4	3	2	1	0
オ.	周囲が事故のことに触れず、そっとしておいてもらったこと	5	4	3	2	1	0
カ.	周囲の人に勉強を見てもらい、学業を助けてもらったこと	5	4	3	2	1	0
キ.	友人が前と変わらず接してくれたこと	5	4	3	2	1	0
ク.	学校や職場で、気遣ってもらえたこと	5	4	3	2	1	0

6. 上記以外に、事故後の周囲や友人、家族の対応で、助けになったことがありましたら、どのようなことでもご自由にご記載ください。

・現在のお気持ちについて伺います。

1. 次の質問では、過去30日間、あなたがどのように感じていたかについておたずねします。それぞれの質問に対して、そういう気持ちをどれくらいの頻度で感じていたか、最も該当する番号に「1つだけ」印をつけてください。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない
ア. 神経過敏に感じましたか	4	3	2	1	0
イ. 絶望的だと感じましたか	4	3	2	1	0
ウ. そわそわしたり、落ち着きなく感じましたか	4	3	2	1	0
エ. 気分が沈みこんで、何が起ころっても気が晴れないように感じましたか	4	3	2	1	0
オ. 何をするのも骨折りだと感じましたか	4	3	2	1	0
カ. 自分は価値のない人間だと感じましたか	4	3	2	1	0

問：過去30日間にどれくらいしばしば...

2. 交通事故によりご家族の方が亡くなられた方に伺います

(亡くなられていない方はP.7のへお進みください)

現在のご状況(過去30日間の状況)について伺います。以下の項目について、もっともあてはまると思われる番号に「1つだけ」印をつけてください。

- (1) お亡くなりになった方の死を受け入れることは、どのくらい大変ですか？

全く大変ではない 多少大変である かなり大変である

- (2) 悲嘆のために、今でも生活に支障がどのくらいありますか？

全くない 多少ある かなりある

- (3) その方が亡くなった時の光景やその時に考えたこと、また、その方の死についての色々な考えによって悩まされることはどのくらいありますか？

全くない 多少ある かなりある

- (4) お亡くなりになった方が生きていたときにあなたがしていたことで、それをするのが亡くなった方がもういなくなってしまうことを思い起こさせるために、もはやそれをする気になれずに、避けていることはありますか？

たとえば、その人と一緒に行った場所に行くことや、その人と一緒に楽しんだことを避けていますか？あるいは、亡くなった方の写真を見たり、その人について話すのを避けていますか？こういったことを、あなたはどのくらい避けていますか？

全くない 多少ある かなりある

- (5) ご家族の方が亡くなってから、以前は家族や友達のように親しかった人も含めて、他の人から切り離されたり、距離があるように感じることはどのくらいありますか？

全くない 多少ある かなりある

。「ご家族の方が亡くなられたことについて受けた説明（事故の説明も含む）」について伺います。

1. ご家族の方が亡くなられてから現在まで、ご家族の方が亡くなられたことについて（事故の状況も含む）説明を受けましたか。該当する番号に、1つだけ をつけてください。

説明を受けた（ 2.へ） 説明を受けなかった（ P.7の へ）

2. 説明を受けた方に伺います。ご家族の方が亡くなられたことに関する説明は、十分でしたか。該当する番号に、「1つだけ」 印をつけてください。

十分だった あまり十分ではなかった 全く十分ではなかった

3. ご家族の方が亡くなられたことについて、「a.いつ頃」、「b.誰から」説明を受けましたか。また「c.そのような説明を誰から受けたかった」と思いますか。該当する番号に、それぞれ「1つだけ」 印をつけてください。なお、何度も説明を受けている場合は、最も印象に残っている説明を聞いたことについて、ご回答ください。

a. いつ頃

b. 誰から説明を受けたか

c. 誰から説明を受けたかったか
(左のb.と同じ方でもかまいません)

事故当時
事故より後
()歳ごろ

親
きょうだい
親戚()
その他
()

親
きょうだい
親戚()
その他
()

4. 上記の説明を聞いたとき、どのように感じたり、受け止められたりしましたか。あるいは、本当はどのように説明してほしかったですか。下記にご記載ください。

・交通事故被害者の子弟を対象とした支援について、全員の方に伺います。

(1) 悩みや思いを安心・信頼して話せる人について

a. あなたは事故から現在までの間に、あなたの悩みや思いを安心・信頼して話せる人がいましたか。下記の方それぞれについて、「いた」・「いなかった」のいずれかをつけ、「いた」場合は、どのくらい支えになったかについて、「とても支えになった」～「支えにならなかった」の該当する場所に「1つだけ」印をつけてください。なお、「いなかった」場合には、「支えになったかどうか」については回答せずに、次へお進みください。

	安心・信頼して話せる人		とても支え になった	やや支えに なった	どちらとも いえない	あまり支えに ならなかった	支えになら なかった
親	いた	いなかった	-----				
友人	いた	いなかった	-----				
きょうだい	いた	いなかった	-----				
同じような体験をした人	いた	いなかった	-----				
スクールカウンセラー	いた	いなかった	-----				
被害者支援センター等の相談員	いた	いなかった	-----				
学校の教師	いた	いなかった	-----				
その他 ()	いた	いなかった	-----				

b. 悩みや思いを安心して話せる人は、誰がよいと思いますか。次の～の項目それぞれについて、「とてもよいと思う」～「よいと思わない」の該当する場所に「1つだけ」印をつけてください。

	とても よいと思う	やや よいと思う	どちらとも いえない	あまりよい と思わない	よいと 思わない
親	-----				
友人	-----				
きょうだい	-----				
同じような体験をした人	-----				
スクールカウンセラー	-----				
被害者支援センター等の相談員	-----				
学校の教師	-----				
その他 ()	-----				

(2) 学業に関する情報について

- a. あなたはご家族の方が交通事故被害に遭われた後、以下のような学業に関する情報を得ることはできましたか。以下の ~ のそれぞれについて、右の「はい」・「いいえ」のいずれかに をつけてください。

	左記の情報は得られましたか	
奨学金の情報	はい	いいえ
授業料免除・減額の情報	はい	いいえ
同じような境遇にあった先輩が、いかに進学を工夫したかについての情報	はい	いいえ

- b. あなたは上記のような学業に関する情報を、どこから得ましたか。該当する番号「全てに」印をつけてください。

インターネットから	きょうだいから
親から	雑誌や書籍から
学校の教師から	どこからも得られなかった
友人から	その他 ()

- c. 上記のような学業に関する情報は、どこから得られることがよいと思いますか。次の ~ の項目それぞれについて、「とてもよいと思う」～「よいと思わない」の該当する場所に「1つだけ」印をつけてください。

	とてもよいと思う	ややよいと思う	どちらともいえない	あまりよいと思わない	よいと思わない
インターネット					
親					
学校の教師					
友人					
きょうだい					
雑誌や書籍					
その他 ()					

(3) 家族や友人関係に悩んだときの支援に関する情報について

- a. あなたはご家族が交通事故被害に遭われた後、家族や友人関係に悩んだときに、下記のような支援に関する情報について、得ることはできましたか。以下の ~ のそれぞれについて、右の「はい」・「いいえ」のいずれかをつけてください。

	左記の情報は得られましたか	
相談機関の情報	はい	いいえ
スクールカウンセラーの情報	はい	いいえ
自助グループの情報	はい	いいえ

- b. あなたは上記のような支援に関する情報を、どこから得ましたか。該当する番号「全てに」印をつけてください。

インターネットから	きょうだいから
親から	雑誌や書籍から
学校の教師から	どこからも得られなかった
友人から	その他()

- c. 上記のような支援に関する情報は、どこから得られることがよいと思いますか。次の ~ の項目それぞれについて、「とてもよいと思う」～「よいと思わない」の該当する場所に「1つだけ」印をつけてください。

	とてもよいと思う	ややよいと思う	どちらともいえない	あまりよいと思わない	よいと思わない
インターネット					
親					
学校の教師					
友人					
きょうだい					
雑誌や書籍					
その他()					

(4) 精神的な困難さに関する情報について

- a. あなたは、交通事故被害者の家族に起こりやすい以下のような精神的な困難さに関する情報について、得ることはできましたか。以下の ~ のそれぞれについて、右の「はい」・「いいえ」のいずれかに をつけてください。

	左記の情報は得られましたか	
家族関係の変化についての情報 例：家族との会話の減少や反抗など	はい	いいえ
友人関係の変化についての情報 例：心ない発言に傷つくことや会話の減少など	はい	いいえ
精神面の変化についての情報 例：やる気が起きないことや気持ちが沈むことなど	はい	いいえ
身体面の変化についての情報 例：体の調子が悪いことや眠れないことなど	はい	いいえ

- b. あなたは上記のような精神的な困難さに関する情報を、どこから得ましたか。該当する番号「全てに」 印をつけてください。

インターネットから	きょうだいから
親から	雑誌や書籍から
学校の教師から	どこからも得られなかった
友人から	その他 ()

- c. 上記のような精神的な困難さに関する情報は、どこから得られることがよいと思いますか。次の ~ の項目それぞれについて、「とてもよいと思う」～「よいと思わない」の該当する場所に「1つだけ」 印をつけてください。

	とてもよいと思う	ややよいと思う	どちらともいえない	あまりよいと思わない	よいと思わない
インターネット					
親					
学校の教師					
友人					
きょうだい					
雑誌や書籍					
その他 ()					

.交通事故被害者の子弟への支援に関する事など、お感じになっていることがございましたら、どのようなことでもご自由にご記載ください。

.自由記述の内容につきまして、内閣府から発行される報告書に引用させていただくことは可能でしょうか？

全て引用してよい
一部なら引用してもよい
(引用してもよい問の番号に をつけてください：
P3 の4、P4 の6、P6 の4.、P11 .)
一切引用してほしくない

多くの質問にご回答いただき、ありがとうございました。

交通事故被害者の子弟の保護者に対する
アンケート調査票

交通事故被害者の子弟及び、子弟の保護者に対する調査の説明とご協力をお願い

交通事故被害者のご家族及びご遺族の方へ

内閣府では、平成 15 年度から、交通事故被害者支援事業を開始し、この事業を通じて、交通事故に遭われた被害者及び家族又はその遺族の方々の精神的な支援の充実強化を図っております。

今般、本事業を進める中で、有識者を含む検討会において、未成年の交通事故被害者ご家族の方への支援が不十分であることの問題が取り上げられ、この度、被害者のご子弟への支援について、ご子弟及び保護者を対象に調査を行うことといたしました。

この調査の結果については、今後のご子弟への支援を充実させるための検討に活用して参りたいと考えております。

なお、本調査へのご協力については、自由意思に基づくものでございますので、参加されないことで、不利益が生じることは全くございません。また、この調査の郵送回収、アンケートの開封、分析につきましては、日本 PMI コンサルティング(株)が行います。個々のデータはすべて匿名の情報として統計的に扱い、外部に漏れないよう厳重に管理いたします。また、この結果につきましては、個人が特定できないよう、全体として集計・分析したものを事業報告書に掲載すること、又は、今後の内閣府事業等に活用することはございますが、ご了解いただいていない記載を公表することは一切ございません。

以上を踏まえまして、今後のご子弟を取り巻く環境の改善を図るためにも、本調査へのご協力を頂きますよう、お願い申し上げます。

平成 22 年 12 月 1 日

内閣府 政策統括官(共生社会政策担当)付参事官(交通安全対策担当)
安部 雅俊

ご記入頂きました調査票は、同封の返信用封筒にてご返送頂きますようお願い申し上げます。また、この調査へのお問い合わせ等ございましたら、下記にご連絡下さい。

< 調査の趣旨について > 内閣府 政策統括官(共生社会政策担当)付
交通安全対策担当：秋山、遠山
TEL: 03-3581-9482(直通)

< 調査の内容について > 日本 PMI コンサルティング株式会社
担当：中山、高橋
TEL: 03-3556-6180 FAX: 03-3556-6265
E-mail: c-nakayama@pmic.co.jp

本調査にご協力をいただき、事故を思い出すなどして辛く感じるようなことがございましたら、下記事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。相談員が対応させていただきます。

センター名：
電話番号：
時間：

このアンケートは、「交通事故被害者の子弟の保護者」の方をお願いします。

このアンケートの概要について

このアンケートは、図のように、「交通事故被害者の子弟」及び「交通事故被害者の子弟の保護者」を対象としております。なお、交通事故被害者とは、交通事故によりお亡くなりになった方及び後遺障害を負われた方を指します。また、ご家庭によっては、複数の調査票を送付させていただきますので、表紙の対象者をご確認の上、ご回答をお願いいたします。

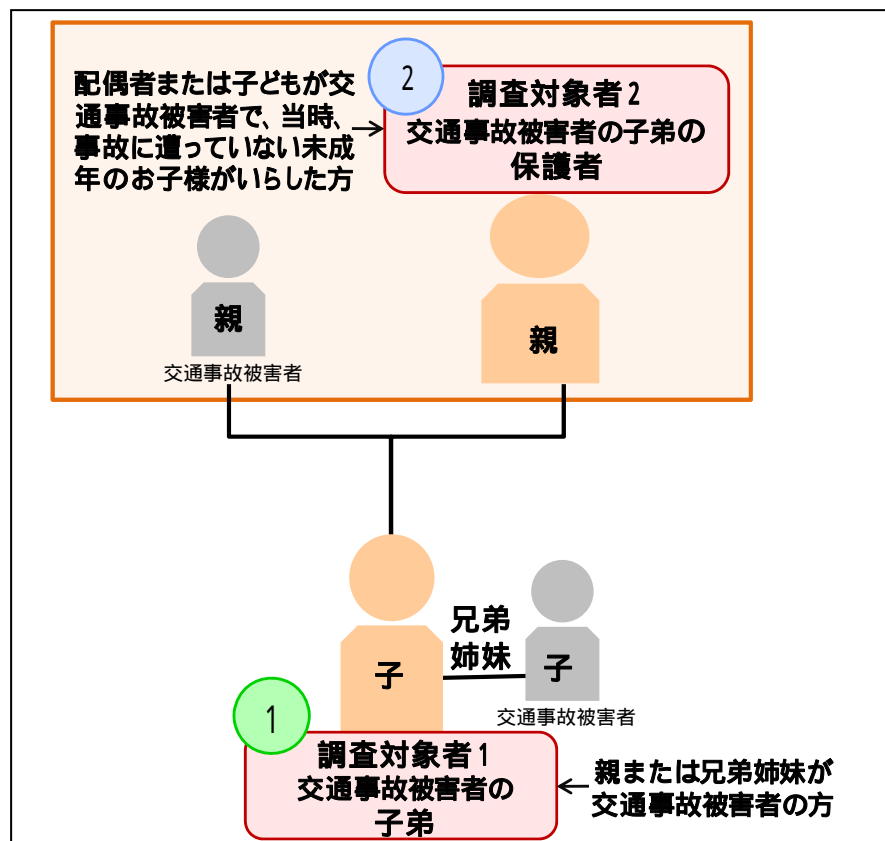
調査対象者1：交通事故被害者の子弟

家族（親や兄弟姉妹等）が交通事故被害者となったときに未成年（18歳未満）であり、現在は、18歳以上の方

調査対象者2：交通事故被害者の子弟の保護者

家族が交通事故被害者となったときに、事故に遭っていない未成年（18歳未満）のお子様がいりした方

図 調査対象者



ご提出期限：お手元に届いてから 10 日後を目途にご投函ください。

交通事故被害者の子弟の保護者に対するアンケート

この調査における「交通事故被害者の子弟」とは、子どもの頃に親やきょうだが、交通事故被害に遭われた方を指しています。

．あなたの状況等について伺います。

1. あなたの性別について該当する番号に をつけてください。

1. 男 2. 女

2. 現在の年齢をご記入ください。

現在 () 歳

3. 現在のあなたのご職業をお聞かせください。該当するものに 印をつけてください。

民間企業勤務・公務員 自営業・自由業・家族従業・内職 現在は働いていない

その他 ()
「 ↓ 民間企業勤務・公務員」と回答した方の契約形態をお聞きします。

A. 正規の職員・従業員 B. 契約社員 C. 派遣・嘱託

D. パートタイム・アルバイト・非常勤 E. その他 ()

．ご家族のことについて伺います。

1. あなたからみて、事故に遭われた方はどのような関係ですか。該当するもの全てに 印をつけてください。

1. 夫 2. 妻 3. 息子 4. 娘

5. その他 (具体的に:)

2. 上記で をつけた方は、亡くなられた方ですか、後遺障害が残った方ですか。該当する番号に「1つだけ」 印をつけてください。

1. 亡くなられた方

2. 後遺障害が残った方

3. 亡くなられた方も後遺障害が残った方も両方いる

3. ご家族の方が事故に遭われたのは、いつですか。

西暦 () 年 () 月 () 日

3. ご家族の方が事故に遭われたときのお子様（お亡くなりになられた方以外）の状況について、左側に、続柄及び年齢をご記入いただき、右側に、就学状況について該当する番号に「1つだけ」印をつけてください。なお、4名以上いらっしゃる場合は、下の枠内に続柄と年齢、就学状況をご記入ください。

(1) 【あなたから見た続柄及び年齢】

【就学状況（該当する番号に1つ印）】

続柄 1. 息子 2. 娘
<u>事故当時の年齢</u> お生まれになっていない () 場合は、右の就学状況の欄 にご記載ください 歳

1. 未就学児（幼稚園・保育園等） 2. 小学校低学年（1～3年生） 3. 小学校高学年（4～6年生） 4. 中学生 5. 高校生 6. 短大生・専門学校生・大学・大学院生 7. 社会人 8. 生まれていない 事故から()年後に生まれた
--

(2)

続柄 1. 息子 2. 娘
<u>事故当時の年齢</u> お生まれになっていない () 場合は、右の就学状況の欄 にご記載ください 歳

1. 未就学児（幼稚園・保育園等） 2. 小学校低学年（1～3年生） 3. 小学校高学年（4～6年生） 4. 中学生 5. 高校生 6. 短大生・専門学校生・大学・大学院生 7. 社会人 8. 生まれていない 事故から()年後に生まれた
--

(3)

続柄 1. 息子 2. 娘
<u>事故当時の年齢</u> お生まれになっていない () 場合は、右の就学状況の欄 にご記載ください 歳

1. 未就学児（幼稚園・保育園等） 2. 小学校低学年（1～3年生） 3. 小学校高学年（4～6年生） 4. 中学生 5. 高校生 6. 短大生・専門学校生・大学・大学院生 7. 社会人 8. 生まれていない 事故から()年後に生まれた
--

(4) お子様4名以上の方（該当する方の続柄と年齢、就学状況をご記入ください）

--

．お子様のことについて伺います。

お子様が2人以上いらっしゃる方は、お子様にかかわる全ての質問について、お1人のお子様に限定することなく、全てのお子様の特徴的なご様子として回答してください。

ご家族の方が事故に遭われてから、お子様に以下のような変化がありましたか。それぞれ右欄の「よくあった」～「全くなかった」の中から該当する番号に「1つだけ」印をつけてください。

	よくあった	たまにあった	どちらともいえない	あまりなかった	全くなかった
ア. 何かをする気力がでなかった	5	4	3	2	1
イ. 体の調子が悪かった	5	4	3	2	1
ウ. 気持ちが落ち込んでしまうことがあった	5	4	3	2	1
エ. 勉強や仕事に集中できなかった	5	4	3	2	1
オ. 学校や職場に行けない時期があった	5	4	3	2	1
カ. 趣味やクラブなど、楽しむ活動が減った	5	4	3	2	1
キ. 勉強やスポーツなどに没頭した	5	4	3	2	1
ク. 友人と遊ぶことが減った	5	4	3	2	1
ケ. 友人と話をしたくなくなった	5	4	3	2	1
コ. 友人との関係が、より親密になった	5	4	3	2	1
サ. 家族の関係が、より密接になった	5	4	3	2	1
シ. 家族と話すことが減った	5	4	3	2	1
ス. 家族に反抗的な態度を取ることがあった	5	4	3	2	1

・お子様に接するうえで困難に感じたことやその対処について、伺います。

1. 事故後、お子様に接するうえで、以下のようなことについて、どのくらい困難さを感じましたか。次の ~ の項目それぞれについて、「とても困難だった」～「困難ではなかった」の該当する場所に「1つだけ」印をつけてください。

	とても困難だった	やや困難だった	あまり困難ではなかった	困難ではなかった
家族が亡くなった(交通事故に遭った)ことについて、子どもにどう説明するか	-----	-----	-----	-----
事故後、子どもにどう接したらよいか	-----	-----	-----	-----
子どもの進路をどうすればよいか	-----	-----	-----	-----
子どもの「悲しみ」や「つらさ」、「怒り」など、「気持ち」をどう理解すればよいか	-----	-----	-----	-----
子どもの「反抗的な態度」、「何もやる気がない」など、「言動」にどう対応すればよいか	-----	-----	-----	-----
子どもとの生活をどう楽しくすればよいか	-----	-----	-----	-----
事故に遭ったことで、子どもが友達とどう接すればよいか	-----	-----	-----	-----
交通事故に遭ったことについて、子どもの学校の教師や友だちにどう伝えればよいか	-----	-----	-----	-----
(亡くなられた場合)子どもを葬儀に参列させたほうがよいのかどうかの判断	-----	-----	-----	-----

2. お子様に接するうえで困難に感じたことについて、お気づきの点がありましたら、ご自由にご記載ください。

3. あなたは、お子様に接するうえで困難さを感じたときに、誰に相談しましたか。また、どこから情報を得ましたか。次の ~ の項目それぞれについて、「相談した・しなかった」または「情報を得た・得なかった」のいずれかにをつけてください。

次に、「相談した」(または「情報を得た」)場合には、右側の「その相談や情報が有効だったかどうか」の「有効」~「有効でない」の該当する場所に、それぞれ「1つだけ」印をつけてください。

なお、「相談しなかった」、「(情報を)得なかった」場合には、有効かどうかについては回答せずに次にお進みください。

誰に相談しましたか (どこから情報を得ましたか)	相談・情報の有無		有効	やや有効	有効でない
	相談した	しなかった			
同じような状況の仲間	相談した	しなかった	_____	_____	_____
学校の教師	相談した	しなかった	_____	_____	_____
スクールカウンセラー	相談した	しなかった	_____	_____	_____
専門家	相談した	しなかった	_____	_____	_____
被害者支援センター等	相談した	しなかった	_____	_____	_____
インターネット	情報を得た	得なかった	_____	_____	_____
マニュアル	情報を得た	得なかった	_____	_____	_____
雑誌・書籍	情報を得た	得なかった	_____	_____	_____
その他()	情報を得た	得なかった	_____	_____	_____

4. お子様に接して困難さを感じたときの対処について、お気づきの点がありましたら、ご自由にご記載ください。

5. あなたは、お子様に接して困難さを感じたときに活用できる情報は、どのように得られることがよいと思いますか。次の ~ の項目それぞれについて、「とてもよいと思う」～「よいと思わない」の該当する場所に「1つだけ」 印をつけてください。

	とても よいと思う	やや よいと思う	どちらとも いえない	あまりよい と思わない	よいと 思わない
同じような状況の仲間から					
学校の教師から					
スクールカウンセラーから					
臨床心理士など子どもの発達の専門家から					
被害者支援センターから					
政府のウェブサイトから					
被害者団体のウェブサイトから					
交通被害者子弟や死別を経験した子どもの特徴について書かれた「マニュアル」から					
交通被害者子弟や死別を経験した子どもの特徴について書かれた「書籍や雑誌」から					
その他 ()					

6. お子様に関して困難さを感じたときの相談先について、「よく利用する相談先」がありましたら、ご記入ください。

--

7. お子様に関して困難さを感じたときに活用できる「インターネットのウェブサイト」について、ご存じでしたら、ご記入ください。

--

8. お子様に関して困難さを感じたときに活用できる「マニュアル・雑誌・書籍」について、よく利用されるものがありましたら、ご記入ください。

--

・現在のお気持ちについて伺います。

1. 次の質問では、過去 30 日間、あなたがどのように感じていたかについておたずねします。それぞれの質問に対して、そういう気持ちをどれくらいの頻度で感じていたか、最も該当する番号に「1 つだけ」印をつけてください。

問：過去 30 日間にどれくらいしばしば...

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない
ア. 神経過敏に感じましたか	4	3	2	1	0
イ. 絶望的だと感じましたか	4	3	2	1	0
ウ. そわそわしたり、落ち着きなく感じましたか	4	3	2	1	0
エ. 気分が沈みこんで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか	4	3	2	1	0
オ. 何をしても骨折りだと感じましたか	4	3	2	1	0
カ. 自分は価値のない人間だと感じましたか	4	3	2	1	0

2. 交通事故によりご家族の方が亡くなられた方に伺います

(亡くなられていない方は P.9 のへお進みください)

現在のご状況 (過去 30 日間の状況) について伺います。以下の項目について、もっともあてはまると思われる番号に「1 つだけ」印をつけてください。

- (1) お亡くなりになった方の死を受け入れることは、どのくらい大変ですか？

全く大変ではない 多少大変である かなり大変である

- (2) 悲嘆のために、今でも生活に支障がどのくらいありますか？

全くない 多少ある かなりある

- (3) その方が亡くなった時の光景やその時に考えたこと、また、その方の死についての色々な考えによって悩まされることはどのくらいありますか？

全くない 多少ある かなりある

- (4) お亡くなりになった方が生きていたときにあなたがしていたことで、それをするのが亡くなった方がもういなくなってしまうことを思い起こさせるために、もはやそれをする気になれずに、避けていることはありますか？

たとえば、その人と一緒に行った場所に行くことや、その人と一緒に楽しんだことを避けていますか？あるいは、亡くなった方の写真を見たり、その人について話すのを避けていますか？こういったことを、あなたはどのくらい避けていますか？

全くない 多少ある かなりある

- (5) ご家族の方が亡くなってから、以前は家族や友達のように親しかった人も含めて、他の人から切り離されたり、距離があるように感じることはどのくらいありますか？

全くない 多少ある かなりある

・交通事故によりご家族の方が亡くなられた方に伺います

(亡くなられていない方はP.9の へお進みください)

1. ご家族の方が亡くなられてから現在まで、ご家族の方が亡くなられたことについて(事故の状況も含む)、お子様に詳しく説明しましたか。該当する番号に、1つだけ をつけてください。

説明をした (2.へ)

説明をしなかった (P.9の へ)

2. 説明をされた方に伺います。ご家族の方が亡くなられたことについて、「a.いつ頃」「b.誰が」説明をされましたか。該当する番号に、それぞれ「1つだけ」 印をつけてください。なお、何度も説明をしている場合は、最も印象に残っている説明をしたことについて、ご回答ください。

a.いつ頃

事故当時

事故より後

()歳ごろ

b.誰が説明をされましたか

親

きょうだい

親戚 ()

その他 ()

3. 上記2.において、亡くなられたことを説明する上で、どのようなことが困難でしたか。また、どのような支援があるとよいと思いますか。下記にご記載ください。

・お子様に対応するうえで受けた支援の中で、よかったと感じているものはありますか（例えば精神的支援や有益な情報など）。下記にご記載ください。

・お子様に対応する上で、どのような支援があるとよいと思いますか。下記にご記載ください。

・自由記述の内容につきまして、内閣府から発行される報告書に引用させていただくことは可能でしょうか？

- 全て引用してよい
 - 一部なら引用してもよい
 - (引用してもよい問の番号に をつけてください：
P4 の2、P5 の4.、P6 の6.、P6 の7.、P6 の8.、P8 .の3.、
P9 .、P9 .)
 - 一切引用してほしくない

多くの質問にご回答いただき、ありがとうございました。